

■ 沖縄新聞で、国体
と九州パワー結果が大
きく報道されました
沖縄県、**盛龍也**



1. ニング室（提供）



武島多加雄

武島日本新
一般120キロ超
九州ハワリーフティング
団体九州・沖縄ブロック
代表戦兼全九州ハワリーフ
ティング選手権大会がこの
ほど県立武道館トレーニング
室で行われ、120キロ超
級一般の武島多加雄がスク

ワッパツのO・C・デット
 日本新を達成した。各陸
 級の優勝者次の通り。
 【九州】53級ジニ
 ア・織田一輝 59級一般
 フルギア・木田雄大 59級
 一般宮城善 66級マス
 ユニア・野原祥孝 66級ジ
 ニア・辰島亮 66級ジ
 一般豊田純也 74級二
 般倉田隆 83級ジニ
 ニア・児玉曉太 83級一
 般・新田朝彦 93級マス
 ターニ・草野聡記 93級
 ジニテリ・中村孝 93級
 級マタニ・小田川洋司
 74級一般青木良仁
 74級超級一般武島多
 加雄
 【東北】66級一般豊
 田純也 74級一般倉
 田隆 83級一般大城
 寛 93級一般油田正
 一 95級一般比屋定
 英信 97級一般青
 木良仁

沖繩 5位入賞

いわて国体公開競技
パワーリフティング

第70回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」の公開競技・パワーリフティング大会が10、11の両日、岩手県平泉町立平泉小学校体育館で開催され、沖縄は団体で5位に入った。昨年の2位に続く入賞。93kg級・池田翔一が首位と2kg差で2位に入るなど、出場選手全員が安定した成績を残した。

県選手団が29日、琉球新



いわて国体公開競技・パワーリフティング大会での5位入賞を報告する沖縄チームの選手ら＝29日、琉球新報社

報社を訪れ、結果を報告した。濱里一監督は「軽量級の有望選手のけがによる故障や、仕事の関係で出場できなかった選手がいたり」と

▽男子66kg級 ⑩豊田純也475^{kg}
 5^{kg} (スクワット155^{kg}、ベンチプレス110^{kg}、デッドリフト210^{kg})

▽同74kg級 ⑥合田隆宏570^{kg}
 4^{kg} (195、130、245)

▽同83kg級 ⑥大城主實599^{kg}
 5^{kg} (200、135、250、230、200)

万全ではない中で、よく結果を残してくれた」とし「来年は3位以内を目指す」と表彰台へ意欲を示した。

パワリフティングは、

- ▽同93⁺級 ②池田翔一 677
- ・5240 1675・5240
- ▽同105⁺級 比屋定英信
- 不出場
- ▽同120⁺級 ⑤青木良一 70⁺(170・125・175)
- ▽団体①千葉47点愛知44点

神奈川38点東京37点沖縄26

で17・5^キ伸び、トップと2・5^キ差まで迫った。これら活躍の裏には選手同士のサポートがあつた。大会への派遣人数が限られている中、出場選手は競技がない際には互いにセコンドに付き、支え合つた。池田は「セコンドの力がないと、競技に集中できない」とときどき。チーム力を一層向上させ、来年は表彰台を目指す。

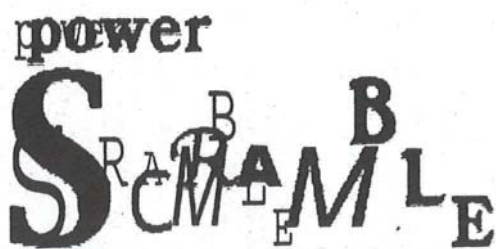
昨年初めて国体の公開競技として開催された。

池田が引つ張る
93^キ級健闘2位

○個人の順位を得点化し、総合得点で競う団体競技。沖縄は出場した5選手
中、4人が入賞する安定感ある試技を披露し5位に入つた。

上位チームとは差はあつたが、濱里一監督は「欠場選手がいる中で上出来た」と及第点を与えた。

特にチームを引つ張つた93^キ級2位の池田翔一の活躍をたたえた。昨年と順位



■ 仲博幸氏、ユニバーサル社会づくりで兵庫県知事個人賞を受賞！

兵庫県では、ユニバーサル社会づくりに貢献しておられる方々を表彰されているとのことです。

この度、JPA理事を務められていた仲博幸氏が、その活動をみとめられ、ユニバーサル社会づくり賞の知事個人賞を受賞されました。仲氏は、JPA時代から、兵庫県で健常者&障がい者交流大会を開催してこられ、パラ・パワーリフティング連盟が発足してからは、いち早く、兵庫県ディスエイブルパワーリフティング連盟を立ち上げられました。そして、兵庫県交流館で、障がいのある人々にベンチプレスの面白さを伝え、毎年、兵庫県パワーリフティング協会の方々と共に、大会を開催しておられます。現在、兵庫県ディスエイブルパワーリフティング連盟は、NPO法人パラ・パワーリフティング連盟の中で、唯一の地方連盟として承認されています。東京パラリンピックの招致が決まったこともあり、ここ、2年余り、毎年、この兵庫県の交流大会から、パラリンピックを目指す新人が誕生しています。

日本の町はまだまだ、バリアフリーが行き届かないところが多いですが、兵庫県は、過去のフェスピック大会（障がい者の方々のスポーツのアジア大会、現在のアジアパラゲームの前身）を開催されたこともあり、バリアフリーへの配慮のなされた街になっているようです。この、ユニバーサル社会づくり賞もそういった兵庫県の姿勢の表れの「賞」だと思います。

仲さん、おめでとうございます。

ユニバーサルひょうご通信
第73号
平成28年8月3日
発行・兵庫県

「ユニバーサル」とは「普遍的な」「すべての人の」に訳され、「だれもが～しやすい」「だれもが～できる」という意味で使われています。「ユニバーサルひょうご」が「だれもが暮らしやすく、参加できる兵庫」の意図です。

ユニバーサルひょうご通信

もくじ

① 平成28年度ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第24回福祉のまちづくりセミナーを開催しました

② 第6回「見ることに不自由さを抱えている方のためのユニバーサル機器展」開催のご案内

③ 情報配慮支援事業について

① 平成28年度ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第24回福祉のまちづくりセミナーを開催しました

7月19日（火）県立会館（神戸市中央区）において、平成28年度ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第24回福祉のまちづくりセミナーを開催し、273人の参加がありました。「ひょうごさわやかステージ」では、失天性の脳性まひのため手足に障害を持ちながらも、声楽家として活躍されている松下和典さんによるバリトン独唱が披露されました。第1部のひょうごユニバーサル社会づくり推進大会では、ユニバーサル社会づくりひょうご推進委員会、みんなの声かけ運動協議会、第24回福祉のまちづくり賞の贈呈式などが行われました。

みんなの声かけ運動協議会
結成者の皆さん

ひょうごユニバーサル社会づくり賞
受賞者の皆さん

ユニバーサルひょうご通信
第73号
平成28年8月3日
発行・兵庫県

ひょうごユニバーサル社会づくり賞
(敬称略)

部門	受賞者・受賞団体名
個人	仲 博幸
団体	岡山1000人会
企業	富士通株式会社 女子バレーボール部 「レッドフェニックス」
ユニバーサル社会づくり ひょうご推進協議会賞	NPO法人 みちしるべ神戸 つつじが丘ふれあいのまちづくり協議会 特定非営利活動法人 ぽっかぽかランナーズ 長田ふれあいのまちづくり協議会 相生らじお 特定非営利活動法人 ユニバーサル・スポーツ振興協会 北区救急ボランティア 宝塚ジャズダンス・スタジオD 兵庫県精神保健連盟
企業	オリックスリビング株式会社グッドタイムリビング 小野

※なお、ひょうごユニバーサル社会づくり賞受賞者の活動は、次号で紹介させていただきます。

② <第6回>「見ることに不自由さを抱えている方のためのユニバーサル機器展」

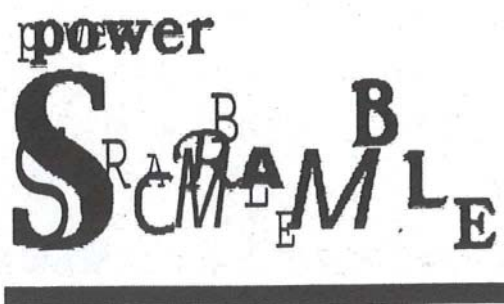
<来て驚き！！ 見て衝撃！！ 使って感激！！の機器を展示します>

視覚障害者以外にも、見ることに不自由さを抱えている多くの方がいらしゃいます。当事者の方々はもとより、当事者への情報提供にご協力いただける方々も対象とした機器展を開催し、多くの当事者の日頃の生活の不自由さを改善し、より快適な暮らしができるようになる事を目的とします。

今回も特別展示として、大阪大学方式の人工視覚システム「人工視覚システム」の展示も行います。めったにない機会です。お見逃しのないように。

その他、おもしろい「夜立つ」イベントも予定しています。皆様方のご来場をお待ちしています。

・日時：平成28年9月11日（日） 10：00～15：30
・会場：兵庫県立福祉のまちづくり研究所 1Fホール・他
神戸市西区 環 町1070 兵庫県立総合リハビリテーションセンター内



■ NPO法人 ニューダンベル体操 協会誕生！

東名アスレチック

高木耀子

この度、日本ニューダンベル体操協会は、新たな発展をめざし、NPO法人として活動を続けることになりました。

1999年9月、東名アスレチックのオーナーで、コーチの鈴木正之先生が「ダンベル運動による健康体力づくりと指導員の養成」を目的に組織を立ち上げたのが始まりでした。

当時は、まだ、健康体力づくり等に対して社会の関心は低く、今日ほどではなかったのです。やがて訪れる高齢社会を予測し、少しでも早いうちに活動開始をとの考えからだったと思います。

その頃、私はダンベル体操がきっかけで、出会った鈴木先生からバーベルトレーニングの指導を受けておりました。さらに、パワーリフティング競技へとすすむうち、その魅力に取りつかれ、大会に出るたびに、夢中になっていました。

或る日、師より、協会設立の趣旨を聞き、私も一員として活動に加わることにしたのです。

以来、年2回の指導員認定講習会を開催し、多くの協力者を得て順調に伸びてきました。

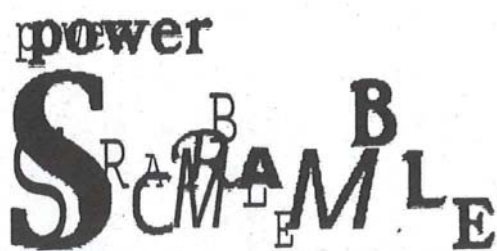
36回の講習会を終え、受講生は、1365人、認定指導員は、700名を超えました。

昨今は、多くの問題を抱えた厳しい高齢化社会となり、やっと筋力トレーニングの必要性が重視されるようになりました。

今こそ私たちの提唱する運動の効果をさらに「広く世の人々に伝えたい、もっと、指導員を増やしたい」との思いから、平野豊美理事は、NPO法人化に向けて奔走しました。結果、今回のNPO法人ニューダンベル体操協会の誕生となった次第です。

NPO法人化初となる、37回認定講習会は、10月30日、名城大学で開催されます。

多くの方々がこの活動に関心を寄せていただきます事を願い、引き続き、普及活動に努めたいと思っています。



■ 喜寿（77歳）を 祝って！！報告 東名アスレチック

平野豊美

NPO法人ニューダンベル体操協会理事長、鈴木正之先生は今年8月15日に77歳（喜寿）を迎えられました。続く8月22日には、長く理事長を務めて頂いているニューダンベル体操協会が、

NPO法人として登録・認証されまして二重の喜びとなりました。

毎年9月にダンベル体操A級指導員の研修会が東名アスレチックで開催されます。今年は、9月25日（日）鈴木正之理事長による講義「指導の場における問題点と解決策」。参加者は21名（岐阜県、三重県、愛知県から）。日頃はダンベル教室で指導をしている人が多く、現場で活かせる講義に真剣に聞き入ってみえました。事前に質問事項を書いてもらっていたので、回答の説明に皆さん納得の研修会でした。

記念撮影に入り、鈴木理事長にサプライズ！！

喜寿の御祝の花束を用意、村上志津子愛知県協会事務局長から贈呈。満面の笑みの先生を、おめでとうの合唱とみなさんの拍手にジムの中は大盛り上がり。

引き続き3人のビルダーの減量法体験の講義に、笑いあり、質問ありのくつろいだ時間となりました。

研修会の後は、お楽しみ理事長お手製のちゃんこ鍋が待っています。かつては、相撲出身の年季の入った腕前で、味は天下一品！！みなさん吞みながら食べながら、おしゃべりにと楽しんで、あっという間に時間が過ぎていきました。

鈴木理事長は一日中講義に指導にまた、ちゃんこ鍋の食べ方の指南までパワフルに動き回られました、年齢を監事させない振る舞いに長く運動（筋トレ）をされている成果と確信します。どうぞ、お元気でご指導いただき、現役続行を願ってやみません。次は卒寿（80歳）の祝をめざして・・・。

